

外国の子どもたちと We Are The World を歌いたい

◎グループ名

小松市立芦城小学校 6 年生

◎夢の内容

外国の子どもたちと We Are The World を歌いたい

◎夢の理由

世界で様々な問題が起こっている今、世界の色々な国の人たちと手をつなぎ心をひとつにして We Are The World を歌うことで世界平和を訴えたい。

◎事業の内容

小松市中心商店街まちなかイベントでの屋外コンサートや国際交流協会とクリスマスパーティを共催し、留学生や在留外国人の方々と交流したり、We Are The World を大合唱したりして、その夢を実現させる。

◎経過（子どもたちとサポーターの主な活動の様子）

月 日	区 分	活 動 内 容
7月25日	第1回実行委員会 (実行委員会の発足)	・ 事業計画の説明 ・ 今後の計画の打ち合わせ ・ 担当者の決定
8月20日	小松市国際交流協会と打ち合わせ (こまつ NPO センター)	・ 夢の実現の形について ・ Xmas パーティの共催について
9月～12月	夢の実現に向けての学習 (総合的な学習・外国語活動・音楽)	・ We Are The World が作られた背景 ・ 歌詞の意味 ・ 現在の世界の状況 ・ 歌練習 (中田理恵さん指導) ・ 交流可能な外国人の国について ・ コンサートの計画
10月～1月	実行委員会 第2回 10/18 第3回 11/21 第4回 12/11 第5回 1/15	・ コン서트、Xmas パーティの計画 ・ 衣装の計画 ・ 広報活動の計画 ・ 国際交流協会との連携計画
10月29日	小松市児童音楽会参加 (小松市公会堂)	・ 小松市小学校文化連盟主催の音楽会への参加
12月14日	国際交流ミニコンサート (八日市町アーケード) 外国人との交流会 (小松市中心商店街・芦城小学校) 国際交流 Xmas パーティ (サイエンスヒルズこまつ)	・ 金沢大学・北陸先端大学院大学留学生 バングラデシュ大学生を迎えて ・ こまつ町家めぐり、曳山交流館見学 茶道体験 ・ 利き茶体験 ・ 学校案内 など ・ 小松市国際交流協会との共催 参加者全員で We Are The World の大合唱
1月19日	第16回子どもドリームフェスティバル (県立音楽堂邦楽ホール)	・ 夢の実現報告会への参加

◎役割分担

◇ 児童	◇ サポーター
・ 発表に向けての学習および練習	・ 広報活動 ・ 児童引率 ・ 衣装 ・ 会計
・ 広報活動	・ 記録 (写真・ビデオ) ・ 国際交流協会との連携
・ 発表	・ ゴスペル指導

☆ドリームサポーター

- ・ ゴスペル指導：中田理恵さん、山本千冬さん (VOX OF JOY)
- ・ 小松市国際交流協会 ・ 能美市国際交流協会 ・ ドリームフェスティバル実行委員
- ・ 芦城小学校校長、教頭、教務担当、6年学級担任

♪外国の子どもと

We Are The World

～世界はひとつ ぼくらは仲間～

夢のはじまりは…

保護者へ協力依頼
子どもたちの夢への実現に
サポーターが結集



を歌いたい♪

世界で今いろんな悲しい事件が起こっているが、
平和を願ってこの歌を歌うことで、世界中の
人たちと1つになりたい

5月
子どもドリームフェスティバルに応募



本気で かがやけ!

～自分☆仲間☆最高学年～

7月
採用決定!

9月

国際理解学習スタート

☆1983年から1985年にかけての深刻なアフリカ
の飢餓問題は深刻なものでした。干ばつ・農業政策の失
敗・紛争など様々な原因による飢えで数百万人もの人が
亡くなった。中でもエチオピアの飢餓問題は深刻でした。
それを救おうと、作られた曲が、

We Are The World!

収益金は全てアフリカを支援するために使われました。



VOX OF JOY 代表
中田理恵先生、山本千冬先生
ゴスペル指導を受けて
～夢への第一歩～



いよいよ歌の練習がスタート!!



ソロメンバーのオーディション♪



パート練習♪



手と手をつないで♪



児童音楽会実行委員でオリジナルラップの歌詞作成♪

We Are The World ラップ

命の重さは みんな平等
 命のために 手を貸そう
 誰かが世界 変えてくれる
 そんな考えは もう捨てて
 We Are The World ぼくら家族なんだ
 みんなが変われば 世界が変わる
 明るい未来 作るために
 仲間信じることが大切
 難しくない 手と手つないで
 平和な世界 作ると決めよう
 We Are The World ぼくら家族なんだ
 LOVE さあ心ひとつに！

10/26 児童音楽会 (小松市公会堂)
 初めての大きなステージ



外でリハーサル
 うまく歌えるか
 ちょっと緊張

いざ本番



11/1 学校公開 (芦城小学校)
 たくさんの保護者の方が見守るなかで



笑顔で
 歌えたよ



～子どもたち 心の声～

- ・自分たちで作った歌詞が、伝わるように
- ・「本気」の二文字をしみこませて
- ・一人一人に何かが伝わったら
- ・世界にも広がっていったら
- ・私達の思いをしっかりと受け取ってもらえたら

6年生！
 すごいなあ

みんなの本気のがんばりが
 見に来た方に伝わり、感動の
 拍手がわきおこりました！

12/14 国際交流ミニコンサート♪ (小松市八日市商店街)

《金沢大学留学生・北陸先端大学院大学留学生・バングラディッシュ大学生》

「本気でかがやけ！」〈わたしたちの学年ソング〉

「ROJO My Cool School」〈芦城小学校創立 220 周年に感謝をこめて〉

「芦城の色 ～The color of ROJO」〈芦城小学校創立 220 周年に感謝をこめて〉

「花は咲く」〈東日本大震災 海外からの支援に感謝をこめて〉

「We Are The World」〈外国の子どもたちと歌いたい〉

〔店頭ポスターで街中に
呼びかけ〕



“みんなに何を伝えたいの？” その答えが自分なりにわかったから気持ちよく終われたんだと思います。



「何のための歌なのか」「どんな気持ちで歌えばいいのか」ひとつひとつの言葉に自分の思いをのせて歌えました。



やりきったぞ！



今日の歌が、見に来てくれた人のひとりひとりの心にひびいてくれればいいなと思います。

小松市カブッキーも来たよ



金大留学生、先端大留学生と交流

曳山交流館・町屋見学の案内

とら屋（茶道体験）

長保屋（利き茶体験）

本村家（囲炉裏を囲んで）

松雲堂見学

玉露？ほうじ茶？
煎茶？紅茶？



バングラディッシュのみなさんと交流

芦城小学校探検ツアー

集義堂記念室（茶道体験）

講堂（一緒に体を動かそう

だるまさんがころんだ）

だるまさんが
ころんだ！



12/14 国際交流クリスマスパーティー（サイエンスヒルズこまつ）
《小松市国際交流協会との共催イベント》

広い会場いっぱいに響き渡る世界中の人たちとの We Are The World ！

思いっきり心を開放できた



言葉がわからなくても
熱意は伝わってほしかった



時間がたつにつれ
「国境をこえることができた」
と思った



外国の人たちの輪の中に入り、
心を合わせて練習した



みんなぐちゃぐちゃに入り交じって
手と心をつなぎ合い
一つの歌を一緒に歌い



一生忘れられない！



世界が一つになった！



ここまでやってきて
よかった！



ずっと歌い続けていたかった



終わると同時に大歓声と大きな拍手、握手・握手・握手
☆ 最高の形で私たちの夢が実現した ☆



交流した皆さんからメッセージをいただきました！



いろんな国の言葉で
感謝の気持ちや楽しかったこと
などが書いてありました！



1 / 19 石川県立音楽堂邦楽ホール

命の重さはみんな平等であるはず でも世界の現状はそうではないからこそ
この歌でメッセージを伝えよう 1人の夢が6年生全員の夢となり、心をひとつに 世界へ届け!!



Make a special bond with you and me!!

～子ども達のふりかえり～

- ★もっともっと「ウィアーザワールド」を聞き、世界に目を向けてくれる人が増えたらいいと思います。
- ★夢がかなったのもいろんな場面で支えてくださった国際交流協会のみなさん、指導してくださった理恵先生・千冬先生・岡嶋先生・太田先生そして一緒に歌った仲間たちのおかげです。
- ★たった一人の夢がやがて広がり学年全体の物になった。一人一人の力を結集してできたこの曲は一生の思い出にできた。
- ★会場が大きな拍手につつまれた。その時は、言葉で表せないほどの感動を覚えた。
- ★自分はこの活動が終わっても世界の平和について考え続けていきたいと思う。

～見に来た方からの感想～

- ★みんなも夢が実現でき幸せですが、みんなを見ている親もとっても幸せな気持ちです。ありがとう。
- ★夢の実現に至るまでに経験してきた事が、ここまで子供達を大きく成長させてくれたんですね。
- ★最初は一人の想いもしだいに多くの想いになり、その想いをさらに多くの人々に伝える様子は、すごい事だともいえました。
- ★あと何回聴くことができるかわからないけど、たくさん聴きたいから卒業式でも歌ってほしいです。
- ★素敵な会場でみんなの夢がかなって本当に良かったですね。堂々と歌っている姿に感動し、元気をもらいました。中学へ行っても、その勢いでがんばってください。
- ★平和を願うみんなの気持ちが少しずつ輪を広げはじめていることを実感しています。

この後もぼくらの想いを伝えるチャンスをもらいました。

「VOX OF JOY コンサート」 「芦城小学校220年祭記念式典」

旧校舎での思い出をモザイクアートで残したい

◎グループ名

七尾市立小丸山小学校 5年生

◎夢の内容

旧校舎の写真をたくさん集めたモザイクアートを作り、完成した新校舎に、旧校舎での思い出を残したい。

◎夢の理由

2013年12月に小丸山小学校の新校舎が完成しました。新校舎での生活はとても楽しみです。これまで過ごしてきた旧校舎がなくなってしまうと思うと、とても残念でした。そこで、旧校舎での思い出を新校舎にも残しておきたいと考えました。

◎夢の内容

小丸山小学校旧校舎での思い出の写真をたくさん集めて1枚の大きなモザイクアートを作る。そして、完成したモザイクアートを新校舎に飾る。

◎経過

月 日	区 分	活 動 内 容
6月	・実行委員会の組織	・活動計画を作成 ・旧校舎の写真を集める（～11月まで）
7月	・ドリームサポーターの決定 （北陸学院中学・高校 芳養先生・近藤先生） ・事業説明会	・モザイクアート作成に関する資料・情報集め ・ドリームサポーターの依頼 ・児童にドリームフェスティバルとモザイクアートについての説明
9月	・ドリームサポーターとの打ち合わせ	・作成するモザイクアートの種類・大きさなどを相談
10月	・ドリームサポーターとの打ち合わせ ・モザイクアートについて （講師 芳養先生・近藤先生）	・小丸山小学校に来ていただく日程の相談・確認 ・小丸山小学校で芳養先生・近藤先生がこれまで作られてきたモザイクアートを紹介してもらう。 ・モザイクアート作成に関するアドバイスをいただく。
11月	・練習の写真モザイクを作成 ・練習のドットモザイクを作成	・練習用の紙で写真モザイクとドットモザイクを作成
12月	・ドットモザイクについて （講師 芳養先生） ・写真モザイク完成 ・ドットモザイク完成	・芳養先生からきれいなドットモザイクを作るためのアドバイスをいただく。 ・本番の写真モザイクを作成 ・本番のドットモザイクを作成
1月	・小丸山小学校で発表会 ・ドリームフェスティバル発表会	・小丸山小学校にてモザイクアートの発表会

◎役割分担

◇児童 旧校舎の写真撮影・写真モザイクの作成・ドットモザイクの作成・発表準備・発表・その他作業	◇サポーター 講師依頼・発表用プレゼンの作成・発表補助
--	--------------------------------

☆ドリームサポーター

北陸学院中学・高校 芳養先生・近藤先生 小丸山小学校職員

モザイクアート 完成までの軌跡

**2013年12月七尾市立小丸山小学校新校舎
が完成しました。それにともなって旧校舎は解
体されることに・・・**



**みんなの思い出がたくさんつまった旧校舎の姿
をモザイクアートにして新校舎に飾ろう！！**

近藤先生・芳養先生来校



キリストの絵は芳養先生が中学生と一緒に作ったモザイクアート！！なんと色のついたつまようじでできているんです。

芳養先生と近藤先生からモザイクアートの種類や作り方を詳しく教えていただきました。



モザイクアートの作り方なんて全然知らなかった私たち・・・そこで金沢で大壁画をたくさん作られている芳養(はや)先生と近藤先生にモザイクアートについて教えてもらいました！！

モザイクアートを作ろう！！

ドットモザイクは、ものすごい数のドットを丁寧にぬらないとだめだから大変だったね。

きれいなモザイクアートができるといいね。



芳養先生・近藤先生から教えていただいたことを参考にしてモザイクアート作りがスタート！！みんなで協力してがんばろう！！

小丸山小学校で発表会

小丸山小学校新校舎で発表会を行いました。4年生や6年生、そしてたくさんのお家の方に私たちが作ったモザイクアートを見てもらいました。

みんなから「すごいなあ」という感想をもらうこともできて、発表会は大成功！！



私たちのモザイクアートを たくさんの人に見てもらおう！！

ドリームフェスティバル 発表会

たくさんのお客さんがいてとても緊張したドリームフェスティバル発表会。練習の成果を発揮して、これまでに私たちが活動してきたことを堂々と素晴らしい声で発表することができました！！

芳養先生も発表の会場に来てくださいました。



5年生全員のがんばりとたくさんの方の協力のおかげでモザイクアートを完成させることができました。



ドットモザイクの色ぬりは小さいドットを丁寧に何個もぬってとても大変でした。

失敗して、大変なこともあったけど、みんなで協力して素晴らしい作品を作ることができました。作品はたて2m横5mもある大壁画！！



小丸山小学校新校舎にこの壁画が何年残って、みんなに旧校舎のことを思い出してもらえるといいね！！



本当にありがとうございました！！

モザイクアートを終えて・・・



モザイクアートを作る前の説明では、モザイクアートはとても大きいものでこれが完成するとどんなものになるのか、とても楽しみでした。完成して、モザイクを遠くから見ると、本物の大きい写真みたいで感動しました。作っている時はみんなで協力して作ったので、モザイクが完成してとてもうれしかったです。ほかにもがんばってよかったです。

たくさんのドットをぬったことが大変でした。私はモザイクアートが初めてだったので、楽しかったです。モザイクアートと聞いたときはどんな感じかなとワクワクしていました。学校でモザイクアートが体験できるとは思いませんでした。またモザイクアートの経験ができたらうれしいです。

ぼくは、写真で旧校舎の絵なんかできるのかなあとはじめは思っていました。けど、先生にしっかりパソコンで解析してもらってようやく旧校舎の写真ができたのでとてもうれしかったです。こうした経験ができてとてもうれしいです。これから、新校舎にずっと残ってほしいと思っています。

最初は、色をぬるドットモザイクに挑戦しました。手がだんだん疲れてきました。次に写真をはっていき写真モザイクをしました。やってみたら案外楽しかったです。本当のドットモザイクも完成し発表する時もちゃんとできてよかったです。芳養先生のおかげです。ドットモザイクや写真モザイクを教えてくださいありがとうございます。

ぼくは、モザイクアートの紙がすべてそろって完成したときが一番うれしかったです。でも、作る途中で失敗があつていろいろ注意されてつらかったこともありましたが、でも、この完成したアートを見て、作っていた時間はむだではなく、最後には大作ができたのでやってきて本当によかったと思います。

私が、一番心に残っているのは、モザイクアートが完成した時です。私は、ドットをぬったり、やりなおしたりしてとても時間をかけて、出来た瞬間、なぜか一気に力がぬけてしまいました。このモザイクアートという経験はきっと一生忘れないと思います。このモザイクアートを小丸山小学校に大切に残して欲しいと思います。

どうしてこんな写真を撮るんだろうと思いながら写真を撮っていた日から3、4カ月後には、思い出がたくさん詰まった旧校舎の正面が浮かび上がり、とてもうれしかったし、楽しかったです。モザイクアートを教えてくださいました。芳養先生と近藤先生ありがとうございました。



私は、ドットモザイクの色をぬるのが好きでした。なので毎週金曜にした総合の時間はとても楽しかったです。写真モザイクは枚数が多いので大変でした。完成した時は、近くで見るとあまりよくわからなかったけれど、遠くから見ると、はっきりしたモザイクアートに見えました。がんばったのでまだ見ていない人がいたら紹介したいです。

モザイクアートで、一番大変だったことは、とても小さいドットをぬることでした。でも一枚おわせると達成感があつてとてもうれしかったです。友だちと一緒にやるとすぐに一枚が仕上がりました。また、モザイクアートやいろいろなアートに取り組み、金沢で夢の発表したいです。



石川県のツバメの歌をつくりたい

◎グループ名

中海KIDS23 （小松市立中海小学校6年1組）

◎夢の内容

6年生で石川県のツバメの歌を作り、ステージで大勢の前で歌いたい。

◎夢の理由

学校では毎年5月に、6年生が「ふるさとのツバメ調査」に参加します。ツバメ学習会に来てくれた先生から韓国にはツバメの歌があるということを教えてもらい、石川県でも同じように歌があったらいいと、自分たちでツバメの歌を作りたいと思いました。

◎事業の内容

クラスみんなで歌詞やメロディーを考えて、ツバメの歌が完成しました。とても明るくて元気な歌になったので、たくさんの人に聞いてもらい、みんなにも一緒に歌ってみたいです。

◎経過（子どもたちとサポーターの主な活動の様子）

月 日	区分	活動内容
7月	実行委員会組織	事業計画と打ち合わせ
8月～10月	ツバメの歌の作詞・作曲	グループごとに歌詞やメロディーのアイデア出し
9月	衣装きめ	ツバメのマークをデザイン
10月	伴奏楽譜作成 発表内容の検討 練習	プレゼン資料作成
11月3日	地域の文化祭（フェスタ中海）	地域の方の前で発表
11月16日	学習発表会（表現会）	中海小全校児童の前で発表
～12月	発表準備 CD作成	プレゼン・原稿作成 CD録音 CDデザイン
12月8日	打ち合わせ	県立音楽堂下見 スタッフと打ち合わせ
1月19日	ドリームフェスティバル	県立音楽堂邦楽ホールで夢の成果発表

◎役割分担

◇児童 ツバメ調査 歌作り 歌・プレゼン練習、発表	◇サポーター 活動補助 会計 記録 引率 ステージ裏方他
------------------------------	---------------------------------

☆ドリームサポーター

中海小学校6年PTA

石川県のツバメの歌をつくりたい

5月9日 ツバメ調査

地域をまわって、ツバメの数や巣の数を調べました。朝早くから、戸をあけてツバメが出入りできるようにしている家や、カラスからひなを守ったりしている家もありました。調査をして、中海でツバメを歓迎している人が多いなあと、感じました。

今年は 大人のツバメが**108羽** 今使われている巣が**135個**ありました。



5月22日 ツバメ学習会

ツバメの成長や生活の様子などを詳しく教えていただきました。となりの国、韓国でもつばめ調査をしていて、ツバメの歌があることを聞きました。

わたし達も、ツバメの歌をつくって、歌いたいのと思いました

ツバメの歌 完成！

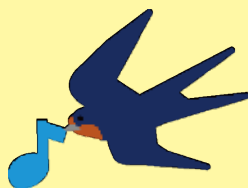
グループでいろいろ言葉を出し合って歌詞を作ったり、歌いやすいようにメロディーを考えたりしながら、曲が完成しました。

ツバメの歌

中海キッズ23

南の国からやってきて 風のように飛んで来る
ふるさとに春を知らせに飛んでくる
今年もしっかり巣をつくり ヒナのためにエサをとり
新しい命をつないでる

それはツバメ あれはツバメ
コシアカツバメにイワツバメ
みんな元気に飛んでいる



秋になるとだんだんと 子どもたちも成長し
南へと帰る準備をしはじめる
またみんなだね この場所に もどってくると約束し
南の国へとかえってく

それはツバメ あれはツバメ
コシアカツバメにイワツバメ
みんな元気に羽ばたいていく

寒い冬は暖かな 南の島でやすんでる
ふるさとに帰るためにやすんでる
太陽の光をあびて 飛び立つ時を待っている
みんなの町へと もどるため

それはツバメ あれはツバメ
コシアカツバメにイワツバメ
みんな元気にもどるため



たくさんの人に聞いてほしい！

11月3日 フェスタ中海

(17) 地方社会 2013年(平成25年)11月17日 (日曜日) 北 国 新 聞

小松市中海小は16日までに、学校独自の「ツバメの歌」を完成させた。県健民運動推進本部の「子どもドリームフェスティバル事業」の支援を受けて制作した歌で、6年生28人が16日、学校の学習発表会で「夢の歌」を響かせた。

6年生は今年5月、「ふるさとのツバメ総調査」(北国新聞社後援)の学習会で、韓国にツバメを題材にした歌があることを知った。自分たちの歌を作りたいとの思いが高まり、夢の実現を支援する同事業に申請した。歌は児童が歌詞やメロディーを考え、長年音楽を担当した田中哲臣校長が仕上げた。明るく軽快な曲調で「ふるさと」に春を知らせに「飛んでくる」など、ツバメの1年を紹介している。12月中旬にCD化するため録音し、来年1月に金沢市で開かれる同フェスティバルで歌った後、全校児童に配布する。

**「自分たちの歌作りたい」
児童の夢実現**

小松・中海小
「ツバメの歌」披露

学習発表会では、児童が父母らにツバメ調査を報告し、振り付けと歌を披露した。ブラスバンドクラブの西出真唯部長は「ツバメのことがよく分かる楽しい歌になった」と話した。



ツバメの歌を披露する児童
小松市中海小

11月17日北国新聞 (北国新聞社 承諾済)

11月16日 表現会



学校の学習発表会や町の文化祭で歌って、大勢の人に聞いてもらいました。メロディーを覚えて、一緒に歌ってくれる人もいました。

初めての レコーディング



自分たちでつくった歌を自分たちで歌い、CDをつくりました。CDもみんなでアイデアを出し合ってデザインしました。

ドリームフェスティバルにおけて



- ・練習の成果を発揮し、みんなの心に残るような歌を届けたい！
- ・大きな声で、みんなに聞きやすいように話したい！
- ・大舞台でツバメの歌を歌うのが楽しみだ！
- ・一生懸命練習してきたので心を込めて歌う。

～夢の成果 発表～

1. 19ドリームフェスティバル



みんなで協力して練習に取り組み、
クラスのまとまりを感じることができた。
ドリームフェスティバルでは練習の
成果を発揮することができたと思う。
サビの高音の部分は十分ではなかった
けど、みんなの夢が実現できた。



保護者のみなさん、サポート
ありがとうございました。

みんなで源平の戦いを表現し、刈安の伝統を舞台で伝えたい

◎ グループ名

津幡町立刈安小学校

◎ 夢の内容

みんなで源平の戦いを表現し、刈安の伝統を舞台で伝えたい。

◎ 夢の理由

自分たちの住む刈安地区には、源氏と平家が戦った倶利伽羅古戦場がある。刈安小学校には、源平の戦いをもとにした「倶利伽羅峠の歌」があり、歌い継がれてきた。それらを題材にした劇を全校で演じ、みんなの気持ちをつなげるとともに、地域に伝え、よき思い出としたい。

◎ 事業の内容

夢実現のために、地域のことを再学習する。舞台で演じるための技術を学ぶ。自己実現のため自分とどう向き合うかを学ぶ。自分たちの手で劇化し、地域の方に発表する。

◎ 経過

月 日	区 分	活動内容
7月3日	実行委員会発足	事業計画、事業日程の決定
7月4日 ～8月13日	源氏太鼓・倶利伽羅峠の歌練習	倶利伽羅太神楽保存会による源氏太鼓（刈安コミュニティ）と倶利伽羅峠の歌の練習（刈安小学校体育館）
8月14日	寺尾祭り	源氏太鼓・倶利伽羅太神楽演奏・倶利伽羅峠の歌を披露（刈安小学校グラウンド）
9月～12月	脚本作り、練習	学習したことを生かし作成した。（刈安小学校）
10月9日、 25日	声楽家による発声レッスン	声楽家の方を招き、発声の仕方や舞台での見せ方などを学習（刈安小学校音楽室）
11月2日	収穫感謝祭	地域の方に披露（刈安コミュニティ）
11月22日	「倶利伽羅峠の戦い」のお話を聞く会	津幡町ふるさと探偵団（観光ボランティア）の方を講師に、木曾義仲の人物像、歴史、史跡などを学習。松尾芭蕉や芥川龍之介が木曾義仲に傾倒していたことを知り、脚本にその旨取り入れた。（刈安小学校）
12月6日	夢を追いつけている方のお話会	夢実現の努力のキーワードは「手本、基礎基本、全力」。世界新をめざす陸上選手のお話を聞く。（刈安小）
12月11日	国際理解教室	イギリスの方に披露（刈安小ワークスペース）
12月19日	地域での発表	お年寄りに劇を披露（特別養護老人施設 ふいらーじゅ）
1月16日	2校交流で発表	笠野小の人に劇を披露（刈安小学校体育館）
1月19日	第16回子どもドリームフェスティバル	県立音楽堂邦楽ホールで夢の成果発表
1月25日	刈安地区講演会	地域の方に劇を披露し、ドリームフェスティバルの報告（刈安コミュニティ）
3月2日	津幡町公民館大会	アトラクションで発表（津幡町シグナス）

◎ 役割分担

◇子どもたち 脚本、劇、歌、衣装、舞台	◇サポーター 学習会、活動補助、会計	◇ドリームサポーター 実行委員会
------------------------	-----------------------	---------------------



- ① 津幡町ふるさと探偵団の桑江朝英さんに、木曾義仲の人物像、歴史、史跡などを教えていただきました。松尾芭蕉や芥川龍之介が木曾義仲に傾倒していたことを知り、脚本にとり入れました。
- ☆木曾義仲は倶利伽羅山の地形をよく知っていたから「火牛の計」という作戦を思いついたとわかりました。(雅斗) 11月22日



- ② 金沢市在住の音楽家、香田裕泰先生に発声法を学びました。ドイツの劇場でオペラの舞台に立っていた経験をもと指導していただきました。
- ☆香田先生は、みぞおちを動かせることや、表情を明るくすることを教えてくださったので、本番ではそれを生かしたいです。(海斗) 10月9日、25日



- ③ かほく市在住で、3000mSC のアジア記録をもち、世界新記録をめざしている末吉眞規子先生に、夢実現のためのお話を聞きました。「お手本をもつ」「基礎基本を大切にする」「手を抜かない」をキーワードとすることが大切です。
- ☆ぼくも、まきこ先生のように、あきらめず、努力を続けたいと思います。(琳太) 12月6日



夢実現のために、学びを生かしました。

夢実現への軌跡

学ぶ

- ① 倶利伽羅峠の戦い、木曾義仲のお話
- ② 声楽家による発声練習と舞台のお話
- ③ アスリートによる夢実現へのお話

作る

- ④ 脚本を作る。道具を作る。
- ⑤ 読み合わせをして、動きを作る。
- ⑥ 全員で動きを合わせ、作品にする。



6年生の室崎さんが応募して選ばれた夢を、みんなで実現するにあたって、6年生は次のように役割を決めました。室崎さんはストーリーを進行する役を選びました。西藤さんは先輩の脚本を参考に、台本を作りました。泉野さんは、主役の木曾義仲を演じることにしました。全校18人全員で、刈安地区の伝統を表現し演じきるために、たくさんの発表の場を作りました。





⑦ 寺尾祭り 8月14日

☆源氏太鼓の披露はアドリブも入れて、おおらかに大きくたたくことができました。地域の人が集まる中で緊張しました。(蓮)



⑧ 収穫感謝祭 11月2日

☆少しきんちょうしたけれど、お年寄りの人たちに、僕たちの言葉が伝わったと思いました。くりから峠の歌は、練習のときよりも倍の声で歌うことができたのでよかったです。(健太)



⑨ 国際交流教室 12月11日

☆最初、ビクターさんにみていただいた「俱利伽羅峠の劇」は、少し緊張しました。しかし、最後までやり切ることができたのでよかったです。(卓矢)



⑩ ふいらーじゅ 12月19日

☆いつもより大きな声で堂々と歌えました。それは、みんなが心を一つにして合わせて歌えたからだと思います。(桜華)



何度も演じ、伝え続けました。

夢実現への軌跡

演じる

伝える

- ⑦ 寺尾祭り
- ⑧ 収穫感謝祭
- ⑨ 国際理解教室
- ⑩ ふいらーじゅ
- ⑪ 2校交流(笠野小と)
- ⑫ 刈安地区講演会
- ⑬ 津幡町公民館大会 (3月2日シグナス)



⑫ 刈安地区講演会 1月25日

☆会場に入るとなんだかときどきしてきました。でも、全員で心を一つにして歌うことができました。地域の方々に観てもらえてよかったです。(杏実)

☆みんなで大きな声を出して歌ったので、お客さんも感心して聞いてくださいました。私の演奏するベルリウも、みんなの歌でひっぱってもらいました。(愛麗)

夢の舞台発表

石川県立音楽堂邦楽ホール 1月19日(日)



☆ 台本作りや練習の監督を6年生がしてくれたので、夢の発表が成功したんだと思います。地域の人たちにもっと成長している姿を見せたいです。(琳太)

☆ 今までしてきたことや先生方からのアドバイスを意識してセリフを言うと、他の人たちに負けないくらい大きな声が出ました。楽しい思い出になりました。(海斗)

☆ すごく緊張しました。観てくださる方に、いい劇を観せることができました。(健太)

☆ とても緊張したけれど、楽しんでもらえてよかったです。(雅斗)

☆ 本番まで、みんなで合わせて練習し、2、3、4年生にも教えていきました。地域で披露した時は、お客さんも感心して観てくださいました。(愛麗)

☆ 「大きく、ゆっくり、はっきり」の3つのポイントを大切に、自分の言葉を言えました。今日は、大成功しました。(杏実)

☆ 本番では、みんな声を出して、自分の役になりきっていました。私は、今日の貴重な舞台で経験したことを生かして、来年度、低学年や地域の人をまとめてひっぱりていきたいです。(桜華)

☆ 本番は、心臓がバクバクいって、はれつしそでした。100%出したのでよかったです。(蓮)

☆ 演じていくと緊張はなくなっていきました。みんなで助け合ってきたのでよかったです。(卓矢)

カポエイラというブラジル文化をたくさんの人に見てもらいたい、知ってもらいたい

◎グループ名

ゲトカポエイラキッズ

◎夢の内容

たくさんのイベントに出演し、カポエイラという格闘技とダンスが融合されたブラジルの文化をたくさんの人に見てもらうこと。

◎夢の理由

カポエイラの知名度は、サッカーやバスケット、空手などに比べてまだまだ低い。しかしカポエイラという素晴らしい文化を、たくさんの人に知ってもらい、仲間を増やしたいと思ったから。

◎事業の内容

仲間を増やす為にも、たくさんのイベントや交流会に参加し、たくさんの人に見てもらう。

◎経過（子どもたちとサポーターの主な活動の様子）

月日	区分	活動内容
7月	実行委員会の組織作り	計画の細案・役割分担の打ち合わせ
7月～10月	練習	週2回の練習でカポエイラの基本的な動きを身につけ、楽器練習をした。 イベントが近づくとその度に構成を変えてショーの振り付けを練習した。
7月20日 ～7月21日	東京遠征	① 六本木ヒルズ キッズパークにてワークショップを行った。 ② 代々木公園にてブラジルフェスタ2013に参加した。
8月3日	もく遊びんイベント	カポエイラを披露した。
8月10日	近江町いちば館イベント	カポエイラを披露した。
8月18日	GUETO CAPOEIRA BATIZADO 2013	金沢市民芸術村パフォーミングスクエアにて昇段式と様々なブラジル文化の披露をした。
10月19日	武蔵山海祭り	カポエイラを披露した。
10月26日	鳥越中学の生徒たちとの交流会	鳥越中学校にて生徒達と一緒にカポエイラを楽しんだ。
10月27日	安原公民館文化祭	カポエイラを披露した。
10月27日	子育て支援メッセいしかわ2013	石川産業展示館内ステージでたくさん子どもたちにカポエイラを見てもらい、夢を実現した。
11月～12月	練習	週2回の練習でカポエイラの基本的な動きを身につけ、楽器練習をした。
1月19日	第16回子どもドリームフェスティバル2014	県立音楽堂邦楽ホールにて、さらにたくさん子どもたちにカポエイラを披露し、夢を実現した。

◎役割分担

子どもたち カポエイラ練習・カポエイラ披露	サポーター 活動補助（衣装作成）・引率・ステージ裏方他
--------------------------	--------------------------------

ドリームサポーター

池崎雄一先生・若岡満先生（カポエイラ指導） 水橋一彰先生（衣装デザイン）

～ カポエイラを広めよう ～

ゲトカポエイラキッズのメンバーは GUETO CAPOEIRA JAPAO 金沢支部のカポエイラが大好きな子どもたちです。しかし「カポエイラを習っている」と友だちに言っても「何それ？どんなもの？」とまだまだ知られていないことにもったいなさを感じた6年生のカポエイラキッズが「よし、カポエイラをたくさんの人に見てもらって仲間を増やそう」と現在の仲間や先生に声を掛け、実現に向けてこのドリームフェスティバルに応募しました。



この夢を叶える為、より質が高く、見ていてかっこいいと思ってもらえるよう、一生懸命練習しました。

「人に見せる」ことで自分自身を高め、そして仲間意識を深め、夢の実現に向けて心をひとつにしました。

この夢の実現に向けての経過が、何よりもゲトカポエイラキッズの大切な「宝物」になりました。



練習



楽器練習、
カポエイラ練習、
ショーの前の特別
レッスンと、
たくさんの人に
見てもらう為、
頑張りました。

東京遠征

ワークショップ 六本木ヒルズ・キッズパーク

東京の子どもたちは積極的で、みんなステージに出てきて
カポエイラを楽しんでくれました。



ブラジルフェスタ 2013 代々木公園

代々木公園全体がブラジルの
空気に包まれた中で、本
場ブラジルからもたくさん
のカポエリスタがやってき
ました。彼らとカポエイラ
が出来たことで、また自信
を持ちました。



イベント出演

もく遊りんイベント

ステキなお店の庭先をブラジルの世界に変えて、
カポエイラを楽しみました。



GUETO CAPOEIRA BATIZADO 2013



1年間がんばってきた成果を見せる日がバチザード（昇段式）です。

子どもの帯は8段階！！みんなで卒業の帯「赤帯」を目指して日々がんばっています。

今回も全国からたくさんカポエイラの先生方が、みんなの昇段を祝いに駆けつけてくれました。

武蔵山海祭り



武蔵に集まったたくさんの人たちの中で、
カポエイラを披露。大きな拍手を頂きました。

鳥越中学の生徒たちとの交流会

カポエイラを知らない生徒さんたちに、カポエイラを披露し、一緒に動いたり、ジョーゴ（1対1の戦い）を一緒にして楽しく交流をしました。



安原公民館文化祭



安原地区の子どもたちの前でカポエイラを披露しました。

子育て支援メッセ いしかわ 2013



この日の為に、カポエイラの先生でもありデザイナーの水橋先生が衣装をデザインしてくれました。「舞」という字を背中に、宙を思い切り舞ってほしいという願いがこもっています。

腕・腰・足についている黄色い帯がふわふわと動く様が、子どもたちの躍動感ある動きをより大きく見せてくれ、子どもたちの大のお気に入りの衣装となりました。

この衣装を作る事で保護者も心をひとつに、みんなで作り上げたショーとなりました。



ポスターも手作りで、たくさんのひとに見に来て頂けるよう学校に貼ってもらったり、お店に貼ってもらいました。
友だちにも配りました。



第 16 回 子どもドリームフェスティバル

いよいよ、大舞台での発表の日。

リハーサルでは緊張のあまりテンションが上がらず、見守る大人はハラハラしました。

そんな姿をみて先生が「顔の筋肉を大きく動かして、大きな声を出しましょう」とみんなにうれしい顔をして見せてくれました。一気にみんなの気持ちが和み、自信をもってカポエイラをみんなに見てもらうモードに変わりました。

本番では素敵な照明をつけてもらい、堂々と舞台に立つことが出来ました。



この「子どもドリームフェスティバル」に応募し、そして選んでもらい、夢を実現する為に子どもたちも、先生方も保護者も、今まで以上に団結して、カポエイラに向き合う事が出来ました。

小さな子どもたちにアドバイスする仲間の姿、カッコいい技や素敵に歌を唄う仲間を尊敬し、あこがれる心。カポエイラは、情緒の面でも成長することが出来ます。今回の経験が、子どもたちの思い出として強く心に残り、これからの人生への何かのきっかけになってくれたのでは？と思います。

関わって下さったすべての方々に感謝の心をもって ^{オブリガード}
Obrigado ! (ありがとうございました)

ゲトカポエイラキッズ